



西予市議会だより

かけはし



令和2年 第2回 定例会

かけはしになれる議会 親しまれる議会をめざして

特集 地域おこし協力隊 × 議会



定例会の報告
議長就任あいさつ
委員会構成・新人議員紹介

特集

地域おこし協力隊 × 議会



地域での様々な活動の協力を行い、その元気の源となって活動している地域おこし協力隊のみなさんのお話を聞きました。西予市に来たきっかけ、暮らしてよかったところ、こんなことがしたいなど「今感じていること」をお聞きしました。
(開催日：6月8日)



●地域おこし協力隊に応募したきっかけは？

■平成30年の豪雨災害時に災害支援として野村町に来ました。誰かのために、自分にできることをする、これが一番の目的でした。その活動の中で、「何かをしてあげる」というより、地域の方から「学んだこと」が多かった。その出会いが運命だと思って、協力隊として活動しています。

■「地域おこし協力隊」の制度に興味を持って、いろいろな地域を探しました。西予市に問い合わせたときに、対応してくれた職員さんの対応がすごく丁寧

で、「ここなら」と思いました。決め手は「人」ですね。

■出身地だったので、帰ってくるきっかけとなる受け皿として、地域おこし協力隊の制度を利用しました。

●今どんな活動をしていますか？

■野村町にお金が落ちる仕組みを考える中で、ゲストハウスの立ち上げをおこなっています。

■農業を学んで、農家として自立を目指しています。

■市が主導する移住業務の仕事をしています。

●西予に住んで、活動してみている感想は？

■地域おこし協力隊の着任が決まって、(人を迎え入れてくれる)地域のバツクアップ体制が充実していて、(住む環境を整えてくれたり、地域の人のつながりを作る)サポート体制がしっかりしていて不安がありませんでした。

■お店が少ないけれど、地域の皆さんから野菜などをいただき、その気持ちがありません。

■お米がとてもおいしいです。味が全然

違いますよ。

●問題点や課題は？

■ゲストハウスを立ち上げるため野村町内で空き家を探していますが、いろいろな事情で借りる所が意外と少ないです。

■商店で買い物をする人が少ない。町内でどうしたら消費が増やせるのか、地元で消費する仕組みを考えて、フェイスブック等SNSの活用を取り入れてみるとよいと思います。

●これからどんなことがしたいですか？

■2泊3日から、地域おこし協力隊を体験できるプログラムを作っていて都市圏での移住フェアなど呼びかけていきたい。また、おためしインターンシップという県の事業があつて、仕事体験プラス地域の皆さんとの交流の取り組みなど、いろいろやっていきたいですね。

■協力隊同士で横のつながりを活用して地域の人達との交流を広げていきたい。そして市外で暮らしている西予市出身の若者が地元へ帰省した時に交流を持ちたいですね。



左から穴井祐介さん（協力隊2年目）シーバース玲名さん（協力隊1年目）草場啓寿さん（協力隊1年目）小林瑛里奈さん（協力隊1年目）山口聡子さん（元協力隊、現西予市移住コーディネーター）

令和2年

第2回定例会



西予市のこんなことが決まりました。

会期 6月8日～6月26日

会議期間 19日間

第2回定例会の議案は

令和2年度補正予算	8件
条例改正	11件
条例廃止	1件
計画策定・変更	3件
意見陳述	1件
請求権放棄	1件
報告	7件
財産取得	1件
請願	1件
議員提出議案	1件

今号では、その中から1つを Pick up

全ての議案と結果は、7ページをご覧ください。

議長就任あいさつ

4月に選挙が行われ、市議会が新たにスタートしました。定数を21名から18名に削減し、少数精鋭での議会となります。西予市も人口減少や少子高齢化などの問題を抱え、将来に向けて解決すべき課題も多いと感じております。一方で、海・里・山の豊かな自然や、一次産業から得られる美味しいお米・みかん・魚など、他市町に誇れるものも数多くあります。

市議会では、市民の皆様によりわかりやすい開かれた議会運営に努めます。行政と真摯に向き合い、二元代表制のもと活発な議論を行い、暮らしで安心なまちづくりを目指して頑張つて参ります。特に一昨年の豪雨災害からの復旧・復興と、南海トラフ巨大地震への備えを重視しております。市民の皆様との意見交換会を本年度も実施させていただきます。高校生



との意見交換会や、様々な団体との交換会を予定しておりますので、ぜひご参加ください。
豊かな自然に恵まれたふるさと西予の中で、次代を担う子どもたちがすくすくと育まれ、人々が穏やかに暮らせることを願います。

西予市議会議長

中村 一雅

議案ピックアップ



〈議案第94号 一般会計補正予算第5号〉

Pick up
1

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている地域経済復活に向け、追加支援を行います

市内の参加事業所で買い物をした世帯に、額に応じた応援金（上限1万2500円）を給付する。
国の持続化給付金の対象外で、一ヶ月（任意）の売上が前年同月比で20％から50％未満の間で減少している個人及び法人に原則一律20万円を給付する。



市内でお買い物を

こんな質疑が出ました

Q 中小企業者等経営安定給付金の実施目的は
A 国が支給している持続化給付金は、事業収入が50％以上減少している事業者を対象としている。それに該当しないが経営的に厳しい事業者も多くあることから、20％から50％未満減少している事業者も、市単独で補い、原則一律20万円を給付する。

Q 中小企業者等経営安定支援事業3億6363万円のうち、観光振興業務委託料の内容は
A 仮称ではあるが、市民を対象とした「せいよGoToジョツアール」を、7月下旬から8月下旬に実施するよう、予定している。市内の宿泊事業者の応援と、観光関連事業者の応援を兼ね、市内のジョアを観光して頂きたい。補助上限は1人1万円で、市民700人を限定で実施する。今回は、市民限定だが、事業の実施状況を精査し、次回は県内外からも受け入れできるように計画したい。

【訂正とお詫び】

西予市議会だより第64号13ページ下段写真説明「東宇和農協堆肥センター（城川町）」は「西予市野村町エコセンター（野村町）」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

令和２年第１回西予市議会臨時会 議決結果表

(令和２年５月２０日)

議案番号	件	名	議決年月日	議決結果
選挙第１号	議長の選挙		５月２０日	投 票
選挙第２号	副議長の選挙		５月２０日	投 票
選任第１号	常任委員会委員の選任		５月２０日	議長指名
選任第２号	議会運営委員会委員の選任		５月２０日	議長指名
選挙第３号	八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会議員の選挙		５月２０日	指名推進
選挙第４号	南予水道企業団議会議員の選挙		５月２０日	指名推進
選挙第５号	愛媛県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙		５月２０日	指名推進
選挙第６号	西予市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙		５月２０日	指名推進
承認第２号	専決処分第１号の承認を求めることについて		５月２０日	原案承認
承認第３号	専決処分第２号の承認を求めることについて		５月２０日	原案承認
承認第４号	専決処分第３号の承認を求めることについて		５月２０日	原案承認
承認第５号	専決処分第４号の承認を求めることについて		５月２０日	原案承認

令和２年第２回西予市議会定例会 議決結果表

(令和２年６月８日～２６日)

議案番号	件	名	議決年月日	議決結果
議案第 71 号	西予市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について		６月 26 日	原案可決
議案第 72 号	西予市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について		６月 26 日	原案可決
議案第 73 号	西予市税条例の一部を改正する条例制定について		６月 26 日	原案可決
議案第 74 号	西予市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について		６月 26 日	原案可決
議案第 75 号	西予市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		６月 26 日	原案可決
議案第 76 号	西予市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		６月 26 日	原案可決
議案第 77 号	西予市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		６月 26 日	原案可決
議案第 78 号	西予市介護保険条例の一部を改正する条例制定について		６月 26 日	原案可決
議案第 79 号	西予市病院事業職員の諸手当に関する条例の一部を改正する条例制定について		６月 26 日	原案可決
議案第 80 号	西予市消防本部職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について		６月 26 日	原案可決
議案第 81 号	西予市城川町地域わがむらは美しく運動基金条例を廃止する条例制定について		６月 26 日	原案可決
議案第 82 号	西予市過疎地域自立促進計画の変更について		６月 26 日	原案可決
議案第 83 号	辺地に係る公共的施設総合整備計画の策定について		６月 26 日	原案可決
議案第 84 号	辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更について		６月 26 日	原案可決
議案第 85 号	公有水面埋立てに係る意見の陳述について		６月 26 日	原案可決
議案第 86 号	株式会社野村町地域振興センターへの出資金払戻請求権の放棄について		６月 26 日	原案可決
議案第 87 号	令和２年度西予市一般会計補正予算（第４号）		６月 26 日	原案可決
議案第 88 号	令和２年度西予市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）		６月 26 日	原案可決
議案第 89 号	令和２年度西予市介護保険特別会計補正予算（第１号）		６月 26 日	原案可決

表決結果

賛否の別れた議案です。そのほかの議案については、全会一致にて可決。

番 号	件 名	1 和 気 数 男	2 宇 都 宮 久 見 子	3 信 宮 徹 也	4 宇 都 宮 俊 文	5 加 藤 美 香	6 中 村 一 雅	7 河 野 清 一	8 佐 藤 恒 夫	9 山 本 英 明	10 竹 崎 幸 仁	11 小 玉 忠 重	12 源 正 樹	13 井 関 陽 一	14 中 村 敬 治	15 二 宮 一 朗	16 兵 頭 学	17 森 川 一 義	18 酒 井 宇 之 吉	議 決 結 果
議案第 69 号	西予市監査委員の選任について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	原案同意
請願第 1 号	日本政府が、「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書の提出について	○	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権)

※議長は採決には加わりません。



消防体制検討特別委員会

◎佐藤 恒夫

○信宮 徹也

宇都宮俊文

河野 清一

竹崎 幸仁

小玉 忠重

中村 敬治

(◎委員長○副委員長)

西予市常備消防の施設整備や消防広域化に対する調査研究、非常備消防の指揮命令系統の統一化問題、人口減少や過疎化に伴う消防団員の確保等を調査研究し、消防体制の充実化を目的としている。

また、広域化に向けて宇和島地区消防本部と指令センター共同運用の調査を本年度から開始し、消防体制も時代と共に変化していく。非常備消防の指揮命令系統の統一化問題についても三瓶地区を西予市消防の管轄区域に加えて設置条例に記載し、本来のあるべき体制に修正していく事が重要である。委員は7名で構成されており、委員会としても西予市のこれからの消防力の向上を目指してしっかりと調査研究をしていく。

消防体制検討特別委員会を設置しました

委員会構成が決まりました

(◎委員長○副委員長)

議会運営委員会

◎酒井宇之吉

○河野 清一

信宮 徹也

佐藤 恒夫

井関 陽一

二宮 一朗

兵頭 学

総務常任委員会

◎兵頭 学

○小玉 忠重

加藤 美香

中村 一雅

河野 清一

源 正樹

厚生常任委員会

◎二宮 一朗

○和気 数男

佐藤 恒夫

山本 英明

中村 敬治

酒井宇之吉

産業建設常任委員会

◎井関 陽一

○信宮 徹也

宇都宮久見子

宇都宮俊文

竹崎 幸仁

森川 一義

請願第 1 号

日本政府が、「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求める意見書の提出について

不採択

総務常任委員会での意見

日本は、核兵器禁止条約が目指す廃絶という目標は共有されているもの、北朝鮮による核兵器開発など、核の脅威にさらされている現状がある。

その対応策として、日米安全保障条約のもとで、核兵器を有する米国の抑止力を維持することが必要であり、安全保障の観点が踏まえられていない核兵器禁止条約を批准するべきではない。

総務常任委員会



委員会では、本会議で付託された議案をより詳しく担当部署から説明を受け、調査・審査します。今回の所管事務調査では、新型コロナウイルス感染症対策についての支援策について担当課から聞き取りを行いました。その状況をふまえ、議会の要望書としてとりまとめ、6月29日に市長に提出しました。その要望事項の一部を紹介します。

10件の議案を審査

- Q** 新型コロナウイルス感染症対策にかかる避難所用の間仕切りと簡易テント等の予算は十分補えるか
- A** 実際、運用しての避難者数にもよるが、市の指定避難所109カ所に充足できるよう配備する予定だが、今後集会所等を避難所として運用することを考慮し、引き続き検討する。
- Q** 横林辺地における飲用水供給施設の整備の内容は
- A** 今回は、1500mの管路の内1150mを更新するもので、将来にわたる給水の安定化を図る整備となっている。

- Q** 地域おこし協力隊の人数と募集内容は
- A** 現在活動している協力隊は、田舎で働き隊が4名、地域おこし協力隊が2名、会計年度任用職員の地域おこし協力隊が3名の計9名で、募集は、田舎で働き隊が6名、地域おこし協力隊2名の計8名である。
- Q** 小中学生1人1台のノートパソコン導入及びネットワーク構築整備費に関して今現在の学習内容は
- A** ソフトを使つての学習研究のまとめ、さらにプレゼンテーションソフトを使つての発表、英語教材を使つた学習、現在、プログラミング教育も入ってきている。



西予市産 黒毛和牛

新型コロナウイルス感染症に

関する要望事項

- ① 議会関係予算不用額分と定額給付金10万円のうち一部を募り、新型コロナウイルス感染症対策基金の創設。
- ② 西予市産農水産物（牛肉・豚肉・養殖鯛等）を積極的に使用した給食を提供し、生産者の経営安定と地産地消の理解を深める食育の展開。
- ③ 子ども食堂をつくり、準要保護児童生徒への支援の強化。

厚生常任委員会



10件の議案を審査

- Q** 放課後児童クラブの指導員は足りているのか
- A** 今回の新型コロナウイルス感染症により、学校が休業になった際、朝から放課後児童クラブを開設したため、74名の指導員だけでは運営が厳しく、各校の生活支援員の協力をいただいた。
- Q** 放課後児童クラブ等が購入する空気清浄機の台数は
- A** 放課後児童クラブや私立保育園で購入する空気清浄機は18台となる。放課後児童クラブ等では、密集を完全に防止することができないため、需要が多く価格が急激に上昇したが、特殊機能がある特定の空気清浄機の購入を希望されている。

書の配布等は郵送に切り替え、ウェブ予約でも対応する。また、受診勧奨は保健師等で行い、保健福祉行政の情報提供については、ホームページや広報、公民館報等、地域に密着したものを活用するなどの対策を進めていきたい。

- Q** オンライン診療をする考えはないのか
- A** 診療の基本は対面診療であり、患者の容態や症状を把握し、細やかな医療を提供していきたいと考えている。今回の新型コロナウイルス感染拡大により、医療機関の受診が困難になることに鑑み、時限的・特例的な取り扱いとして、初診から電話や情報通信機器による診断や医薬品の処方が可能となっている。時代や住民の要請に応えられるよう、メリット・デメリットを検証した上で前向きに検討したい。

新型コロナウイルス感染症に 関する要望事項

- ① 新型コロナウイルス感染症に対する支援策、制度について市民に對しわかりやすい周知。
- ② 国の特別定額給付金の給付対象者の基準日は令和2年4月27日となっており、それ以降に産まれた子どもに対する給付支援。
- ③ 新型コロナウイルス感染症に対する偏見や差別をなくす、シトラスリボン運動の推進。
- ④ 新型コロナウイルス感染症に関し、相談等が多数寄せられ、業務が急増している民生委員に対する支援策。



野村病院 受付窓口

産業建設常任委員会

4件の議案を審査

- Q** 県営林道田之筋溪筋線開設の工事予定は

A 平成27年から令和11年の15カ年計画である。
- Q** 高性能林業機械導入事業について、補助金1億4723万1000円とあるが導入機械の内容は

A 2枚の帯鋸にて2面を製材する機械と、板材加工機のエッジャーという2枚の丸鋸によって設定した幅に自動製材する機械と、チップを作るチップパーを導入する。
- Q** 市道二及10号線改良事業2700万円の内訳と旧二木生小学校の解体工事はいつになるのか

A 測量設計委託料600万円、市道の両側に立ち並ぶ家屋の事前調査委託料1600万円、水道本管の布設替えに係る設計委託料500万円計上し、市道改良工事は令和3年度と令和4年度の2カ年を、そして令和5年度に旧二木生小学校の解体工事に着手する計画である。
- Q** 野村町阿下地区の残土処理場の造成工事費4500万円、立木補償はあるのか

A スギ・ヒノキについて補償するが、用材の撤去については、所有者にお願いする予定である。

新型コロナウイルス感染症に関する要望事項

- 市内観光業のために市内に宿泊する愛媛県民に対し、宿泊代金の一部の助成。
- 共通飲食応援前売り券や施設優待券などの特典付き宿泊券の検討。
- 価格が下落している一次産品の市内でのスムーズな流通、新たな販路拡大を調査研究。
- 市民が行う各種宴会や忘年会など、できるだけ市内飲食店で行うようキャンペーンの展開。
- マイナンバーカードに図書カードや診察券、保険証、印鑑証明などを一体化させ特別定額給付金などの申請がスムーズに行えるような研究。



2割お得で好評な
飲食応援前売り券

一般質問

みなさんの生活にかかわる内容について質問を行います。

一般質問



二宮 一朗

管家市長の公約について

- Q** 地域づくり活動センターの市民検討委員会の検討項目と市役所改革は

A センターの機能、人材配置、公民館がない地域への設置、設置箇所、指定管理制度の導入と分館制度の取り扱いの6項目である。
- Q** 市民サービスの向上に資するICTを活用した業務改善、オフィス改革に取り組むとともに、新しい職場環境、業務の進め方に対応し、公務の能率性、効率性を向上できるよう職員の意識改革にも取り組んでいく。

市民サービスについて

- Q** 中学生までの通院医療費の無料化と市営住宅入居時の保証人は

A 市民の声と県内自治体の動向を鑑み、令和3年度実施に向け財源の確保を前提に準備をする。
- Q** 市営住宅入居希望者の負担が軽減出来るように見直し、災害公営住宅の入居手続き時に合わせ条例改正に取り組む。

一般質問



宇都宮 久見子

新型コロナウイルスについて

- Q** 経済への影響について、魚価の低迷が著しい水産漁業者に対する支援は

A 特にヒラメ、タイなどの高級魚や、サザエ、ウニなどの水産物が下落している状況である。支援策としては西予市中小企業者等経営安定補助金や国の持続化給付金、漁業近代化資金の活用を検討いただきたい。水産業においては、近隣市町でも同じ状況で補助制度が少なく、農業関係のような手厚い支援となっていないのが現状である。

A Q

2波3波への対応は医療面では、衛生資機材の確保と県や県内医療機関との連携、福祉面では市内福祉施設や高齢者施設との連携、経済面では、国・県事業を補完する市の中小企業者等経営安定支援事業の継続、教育面では、GIGAスクールで整備する1人1台のノートパソコンを用いた遠隔授業、危機管理面ではマスクや消毒液等の備蓄継続、また感染症に対応した業務継続計画を整えており、各方面での備えと迅速な対応に繋がるよう努めていく。



西予の水産業を守りたい



三瓶の分館の決着は

一般質問



小玉 忠重

平成30年7月豪雨災害の復旧・復興について

Q 県道宇和野村線、鎌田坂石間の全面通行止めが続いているが、現況と解除の見込みは

A 現在の進捗状況は地下水を排除する排水ボーリング工事が完了し、工事用道路の建設中であり、令和2年10月上旬から地すべり上部の土砂の掘削運搬を実施。鉄筋挿入工やアンカー工を施工し、地滑りの鎮静化が確認できた段階で、片側交互通行が令和3年12月末ごろ、全面解除は令和4年度中を予定されている。

Q

市道阿下釜川線が片側通行、市道栗木川平線が全面通行止めになっているが、片側通行及び全面通行止めの解除はいつ頃か

A 当2路線は、地すべりの兆候があることから、観測業務を継続している。国土交通省と復旧事業の協議を行ってきたが、新型コロナウイルスの影響で協議が一時中断している。今後、協議を再開し、速やかに事業に着手したいが、現時点では工事完成による制限解除の見通しが立っていない状況である。



生活道路の早期復旧を

一般質問



井関 陽一

医療対策について

Q 開業医誘致条例を制定しては

A 不足している産科及び小児科の診療所を市内に新規開業する方を対象に、出産体制の確保及び安心して子育てができる環境整備を図るため、市単独の補助事業の早急な創設を考えている。医師会や愛媛大学医学部にもご協力をいただき、開業される医師の掘り起こし等を積極的に進めながら地域医療の確保に努める。

支所分散化について

Q 感染症対策や災害対応策として本庁集中方式から部の支所分散化は出来ないか

一般質問



信宮 徹也

西予市中小企業者等経営安定補助金について

Q 日本政策金融公庫から借り入れをした場合、3年後から金利が発生してくるが補助対策はあるのか

A 3年間の実質無利子後の利子補給制度は現在、西予市では考えていない。

しかし、3年後に新型コロナウイルス感染症が終息しているとは限らないことから、そのときには、また新たな西予市ならではの補助制度や事業を考えていきたい。

市内3公立高校の在り方について

Q 入学人数が減少している市内高校を総合高校化した

A

基本的には現在の本庁支所方式を維持していく。しかし、現在小規模多機能自治制度による地域づくり活動センターの設置に向け、本庁支所間の機能の分担、分散、あるいはその整理統合等について検討を進めている。

近い将来には、組織の見直しも必要になると考えている。



開業医誘致制度（北海道稚内市）

り、宇和町体育館周辺に3校を一本化した新設高校を創設したりすることを県に提案してみてもどうか

A 市内に暮らす子どもたちが行きたい、そして学びたいと思える特色のある高校を今の3つの高校の中で目指して高校魅力化事業を推進しつつ、提案頂いた新しい高校のあり方についても今後、研究をする必要があるが、現時点においては、県に提案すべき時期にはきていないと認識している。



宇和町体育館周辺

一般質問



宇都宮 俊文

過疎地域における問題について

Q 山間部におけるごみステーションの対応について

A 市内のごみステーションの数は合計760カ所あるが、実際にごみステーションまで距離がある世帯は、山間部はもちろん市内各地において存在する。自治会からの要望に対しては、個別に対処しているが、収集運搬費用面を含めて慎重に検討せざるを得ない。なお、高齢等で歩行が困難な方が、ごみステーションまでの距離が遠く苦慮されている場合は、増設ではなく「ふれあい収集事業」で対応している。今後もより良い方法を検討する。



山間部のごみステーション

(※注1) 救急車との合流地点となるドクターヘリの離着陸場

一般質問



佐藤 恒夫

市役所の業務について

Q 市民と行政との距離を縮めるための窓口対応策は

A 市民の皆様からは行政サービスの質的向上が求められている。職員一人の不注意や不適切な対応により市役所全体の信頼を失うことになる。職員全員が市民の皆様信頼され親しまれるよう努力する。誠意ある対応と親切丁寧な説明を全職員に徹底する。

消防広域化について

Q 通信指令センター共同運用の今後の取り組みと方向性は

A 宇和島地区消防本部と共同運用の基本的な部分に合意をして調査を進めていく

事とした。

令和6年前後に両消防本部を建て替える予定としている。その際にどちらかの庁舎に指令センターを併設し新庁舎共用開始と同時に共同運用が開始できる事が理想である。実現性は調査結果にもよるが、いずれにしても市民の皆様への安心と安全を守るため最善の努力をする。



消防指令センター（栃木県那須地区消防本部）

コロナ対策について

Q コロナ感染者や医療従事者に対するの風評被害対策は

A コロナウイルス禍から人権を守るシトラスリボン運動を広げるなどとして、差別や誹謗中傷がない地域社会の安心安全の確保に努めていく。リボンの作り方は、リーフレットで人権啓発課から各戸に配布予定であり、是非この運動に協力いただきたい。

一般質問



和気 数男

市民病院の休日・夜間の二次救急体制の集約について

Q 野村病院の休日・夜間二次救急の中止を見直すべきでは

A 医療従事者確保や働き方改革への対応などから、現状の二次救急体制維持は、今後困難となる。現在、新公立病院改革プランの見直しを行っており、休日・夜間の二次救急の集約は、両病院で協力し、受け入れ態勢を維持できる実現可能な方策と考えている。

野村・城川地区では、地域医療の取り組みが進んでおり、医師会、関係機関等と連携した在宅医療福祉のモデル地域として継続・充実するよう努めたい。



一般質問



酒井 宇之吉

高齢者社会の対応について

Q 老人クラブの活性化のためにクラブの事務局を地域づくり活動センター設立後に雇用した職員に持たせることはできるか

A 各地域において判断されることになるが、地域任用職員が事務局を持つことについては問題ない。

Q 新しい生活様式に対し、スマホ・パソコンなどを使いこなせない高齢者への対応は

A スマホ・パソコンは、新しい人間関係や交流を生み出し、高齢者の心を豊かにするなど、暮らしに刺激や張りを与えてくれるものになり得る。また、コロナ社会においても離れて直接会

うことができない子や孫、知人と会話することができない。しかし、若年層に比べ、利活用が進んでおらず、利用に不安を感じていると思われる。

今後、多くの高齢者が安心して機器を利用できるように、老人クラブ活動での研修実施や教育委員会と連携しての講座開設など、高齢者に対するICT利活用の支援の取り組みを検討していく。



西予市老人クラブ連合会総会

議会のニューフェイス

日本共産党 和気 数男

出身は、野村町上野です。年齢73歳、若くない唯一の新人です。野村町役場を退職後、地域課題解決として農業を軸とし、多くの農家や仲間と「汗と土」にまみれて23年やってきました。過疎化の波に消滅しそうな中山間地、もう一度考えてみたいと思っています。人間が自然を搾取した結果生まれた新型コロナ、効率至上の新自由主義は見直すときが来たようですね。座右の銘「念ずれば花開く」趣味 読書、囲碁、散歩。よろしく願います。



きかせて！あなたの夢

西予市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



まつもと なな
松本 奈々さん（皆田小学校 6 年）

私の将来の夢は、体育の先生になることです。体育の授業が大好きで、いつもわくわくします。先生になったら、西予の子どもがわくわくするような授業をしたいです。運動が苦手な子には、優しくアドバイスをして、みんなに体育を好きになってもらえるように努力したいです。

ボール投げをしていた時、先生にボールの持ち方や肩の使い方をアドバイスしてもらいました。言われたように投げると、記録がすごく伸びてとてもうれしかったです。分かりやすく教えられるような先生になりたいです。これからも、夢に向かって勉強をがんばり、体育の先生になって西予の子どもたちのために尽くしたいです。

議会レポート

1

令和2年5月16日、西予市第5期議会議員18名の任期がスタートしました。

（右：令和2年5月20日 理事者と撮影）



2

今定例会では議員全員が新型コロナウイルス感染症に対する偏見や差別をなくそうと呼びかけるプロジェクトに賛同し、左襟にシトラスリボンをつけて出席しました。

1日も早く、かつての日常が戻ることを願いました。

◎編集委員
委員長 佐藤恒夫
副委員長 信宮徹也
委員 宇都宮久見子
和気数男
河野清一
山本英明
源正樹



佐藤恒夫

今回は豪雨災害から復旧した乙亥会館で地域おこし協力隊の方々に話を聞きました。就任されて1年経ちませんが、「呑む村」にすっかり溶け込んでおられる事に感じました。おそろべし野村の「サシアイ」文化！
改選に伴い編集委員のメンバーも新しくなりました。これからも議会からの情報を分かりやすく発信していきたいです。

編集後記

